

自由な離島めぐり

背景

竹富町の概要



竹富町は、琉球列島の最南端八重山郡に属し、石垣島の南西に点在する16の島々から構成される（有人島9つ、無人島7つ）。

背景

竹富町の主な観光スポット



鳩間島



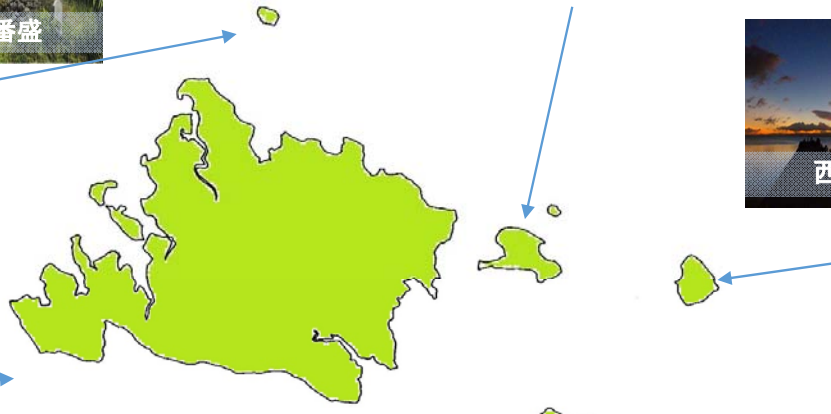
小浜島



竹富島



西表島



波照間島



新城島



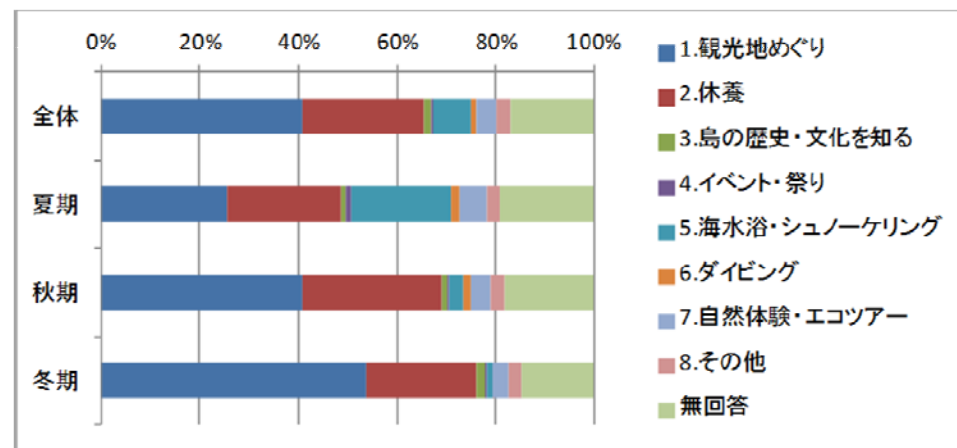
黒島

背景

竹富町の観光

竹富町内の訪問島数	全体	
	実数	比率(%)
1. 1島	372	49.5
2. 2島	245	32.6
3. 3島	122	16.2
4. 4島	8	1.1
5. 5島以上	5	0.7
合計	752	100.0
平均訪問島数(島/人)	1.71島/人	

竹富町の16の島の中で、観光客が訪れるのは1.7島

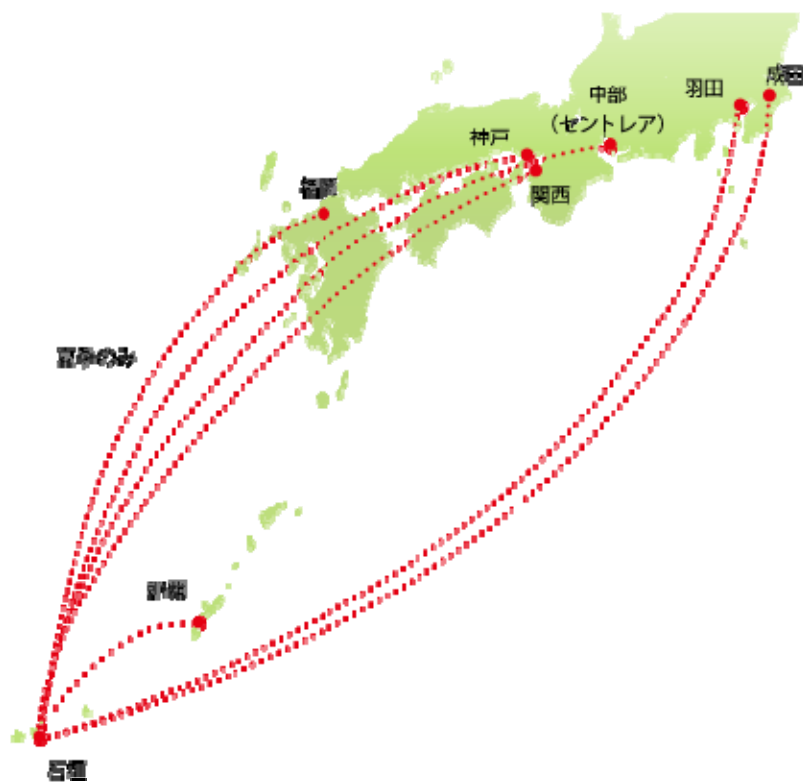


期毎の観光目的の割合

夏季はマリンスポーツが多くなるものの、全体として観光地巡りが主な目的になっている。

背景

竹富町へのアクセス



- まずは飛行機で石垣島へ。
 - 羽田空港－石垣空港 約3時間
 - 関西空港－石垣空港 約2時間30分
 - 那覇空港－石垣空港 約1時間
- 空港から離島ターミナルへ。
石垣空港から、バス・タクシーを利用する。
 - タクシー 約3,000円(約30分)
 - バス 540円(40～50分)
- 船で各島へ。

背景

離島間の交通状況



石垣↔竹富島 28
↔黒島 8
↔小浜島 18
↔西表島上原 7
↔西表島大原 17
↔波照間島 3
↔鳩間島 5

小浜↔大原 2
小浜↔竹富 2
上原↔鳩間 2
大原↔竹富 1

石垣からの本数と比較して、
離島間の本数は大幅に少ない。

竹富町の観光のまとめ

島によって様々な特色や観光スポットがあり、訪れる価値がある。

竹富町の観光目的は主に観光地巡り。

しかし、

離島間のフェリーの本数は1日1本あるかないかで、結果として観光客が訪れるのは平均1.7島である。



離島間の新たな交通手段の提案

提案

小型船舶のさらなる普及

時間や目的地が縛られない自由な交通手段として
離島において小型船舶レンタルの開始を提案する。

例えば、、、
釣り、クルージング、海上BBQなど
交通手段以外にも使い方はいろいろ！



提案

全国のレンタルボートショップ



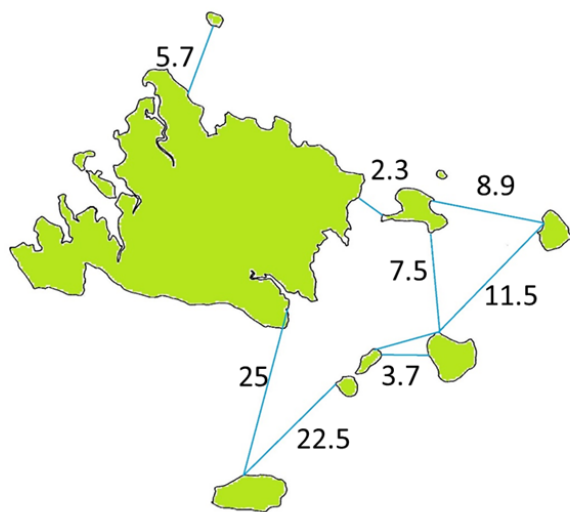
全国的にレンタルボートはあるものの、
離島にはほとんどないのが現状。

- ・赤色: 手漕ぎボートのみ
- ・青色: 船外機付きのみ
- ・黄色: 船外機付き、手漕ぎ両方あり

提案

具体的提案①

各島に小型船舶のレンタルショップを設置。
島で連携してどこで返却してもいいような体制をとる。



離島間の距離(km)

竹富町は波照間島以外は二級免許で
回れる範囲にある。
さらに、
竹富島-小浜島、黒島-新城島間は
水上オートバイで渡ることができる。

提案

具体的提案②

小型船舶免許取得合宿の開催。
離島を観光しながら免許取得できるようなコースを設定する。



参考事例: きつき自動車学校

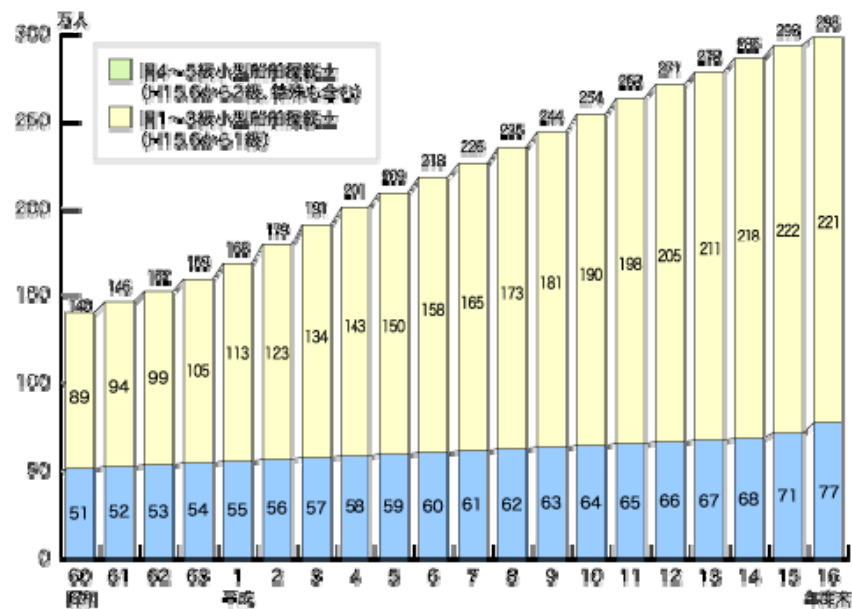
- ・ 免許取得合宿の特典
- ・ 湯布院温泉付き観光ご招待
- ・ 別府鉄輪温泉砂湯体験
& 焼肉食べ放題
- ・ コンビニのプリペイドカード
or 三川食堂食事券プレゼント
- ・ キティちゃん初心者マークプレゼント
- ・ 名物「きつきとり天井」プレゼント
- ・ 潮風さわやかな女性専用の宿舎、
ブランヴェール住吉浜

<ポイント>

杵築ハーモニーランドや
温泉など、地域の観光・
名物が楽しめる。

参考資料

小型船舶免許受有者



小型船舶操縦士免許受有者数の推移

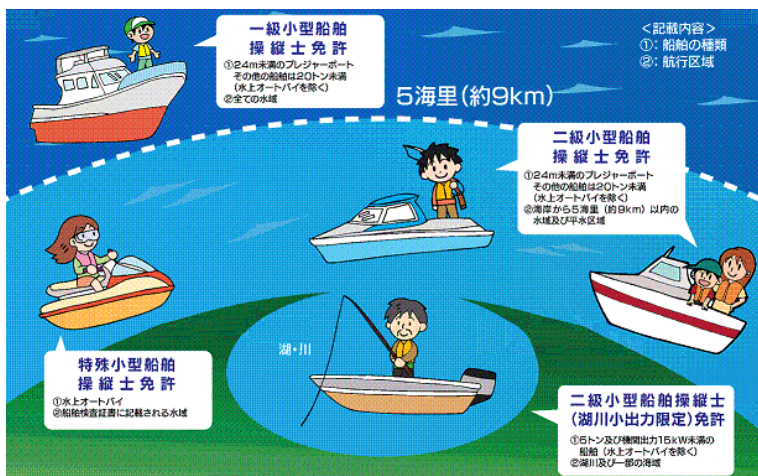
小型船舶操縦士免許の受有者数は年々増加傾向にある。

↓

ボートの利用者も増加

参考資料

小型船舶の詳細



	操縦できる範囲	操縦できるボートの大きさ	最短免許取得期間
①一級小型船舶操縦士	無制限。	総トン数20トン未満のボート、または、用途がスポーツやレクリエーションに限定された長さ24メートル未満のボート。	4日
②二級小型船舶操縦士	湖や川、湾などの陸岸にほぼ囲まれた水域や、海岸から5海里(約9キロメートル)までの海域。	総トン数5トン未満で、かつエンジンの出力が15キロワット未満の船。	2日
③二級小型船舶操縦士(湖川小出力限定)	湖や川などの内水面と指定された一部の海域。	水上オートバイ。	1日
④特殊小型船舶操縦士	水上オートバイという船そのものの航行できる区域。(湖岸や海岸から2海里: 約3.7キロメートル)		

おわりに

自動車が普及していったように、小型船舶が一般の交通手段として、さらに普及していてもよいのではないか。

免許取得には時間と費用がかかるが、観光の一つにしてしまうことで、免許と思い出が同時に手に入る。

また、全国各地でボートを利用できるため、免許を取得する価値は高く、さらに全国の離島に展開し、船舶を利用できる機会をより増やすことで解決できると考える。

参考文献

- 竹富町HP
<http://www.town.taketomi.lg.jp/>
- 竹富町観光協会
<http://www.painusima.com/taketomijima>
- 国土交通省
http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_mn10_000006.html
- 日本舟艇工業会
<http://www.marine-jbia.or.jp/data/>
- 釣りナビ
<http://tsurinavi-kun.com/featured/view/24/>
- 毎日コムネットの合宿免許
<http://www.gasyukumenkyo.com/kitsuki/>